

やまがら

2025年
秋号
No.60

松山市議会議員

梶原ときよし

会派：新風会(市政監視を行う無所属3人)



やまがら(山雀)

毎年、冬には自宅に来てくれます。

JR松山駅横には市民文化ホールを!!
アリーナは松前町へ!!

- JR松山駅横には、松山市民に不可欠な市民会館文化ホール・図書館を建設しよう。
- アリーナは松前町にまかせよう。
(アリーナ建設は松前町でも、宿泊等の主要な経済効果は松山市にあります)
- 松山城城山崩壊事故(3人死亡)松山市は責任を認めて、被災者救済を行え!!



発行・梶原ときよし

差別や排斥主義を煽る政治やめさせ!!

あなたが尊重される社会をつくるう!!



新風会の梶原時義でございます。
秋の気配を感じつつも、まだまだ暑い日が続きますので、市民の皆さまにはくれぐれも、ご自愛くださいませうお願い申し上げます。

さて、先の参議院選挙では、国民の6割が生活が苦しいと訴えているにもかかわらず、物価高対策を含め、消費税減税もやらない、ガソリン暫定税率の廃止もやらない、何もやらない政権与党の自民党や公明党が大敗しました。また相変わらず※セクト主義が蔓延する共産党が敗北したこと、これは極端な話としても、差別や排斥主義を煽る右翼政党が躍進したことには、私達は危機感を持って対峙していかなければならないのではないのでしょうか。

2025年9月議会(抜粋)
一般質問前文
梶原 時義
2025年9月17日

とりわけ、学校現場において外国にルーツを持つ児童・生徒が参政党のポスターにある「日本人ファースト」という言葉におびえてはいないか、心配でなりません。

全ての子どもたちには、安心して教育を受ける権利があり、大人はそれを保障しなければなりません。

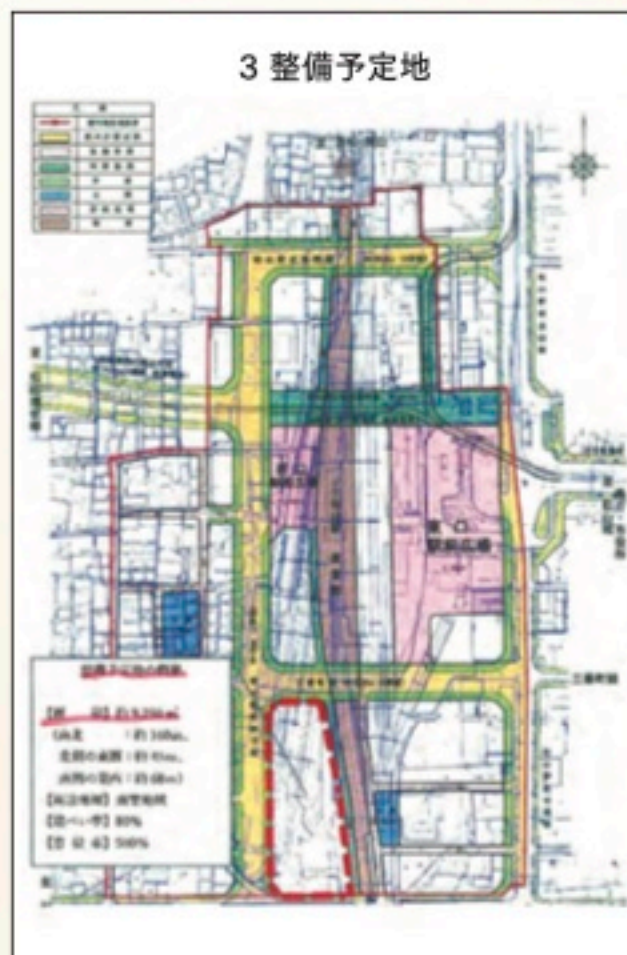
差別や排斥主義を煽るだけでなく、差別を固定化させる危険性さえある発言が日常でも学校現場でも飛び交うことが無いよう、教育委員会は厳正に対処していただきたい。

差別をしない・させないだけでなく、黙認しない・放置させないことが何より大切なことだと考えます。

私、梶原時義の政治スローガンは「あなたが尊重される社会へ」つまり「ひとり一人が大切にされる人間尊重社会」の実現です!!

前者と私の主張の違いを含め、始めに教育長に質問いたします。

※セクト主義とは
他の党派を排除しようとする傾向として定義され排他的になる考え方のことです。松山市議会における共産党議員の人権意識の無いフェイク発言や行動を指します。

「必要なのは」市民会館を代替する文化ホールであり
「あったらいいな」のアリーナではない!!

3 整備予定地

松山文化交流拠点建設で仕様書まで決まっていたにもかかわらず、市長がドタキャンしてアリーナに変更!!

- 1 業務の名称
「車両基地跡地広域交流拠点施設基本計画策定業務(以下「本業務」という)」とする。
- 2 業務の目的
現在、松山駅周辺地区では、愛媛県による連続立体交差事業及び本市による土地区画整理事業と関係者の連携のもと実施し、当地区を四国の玄関口にふさわしい広域交通の拠点として整備を進めているところである。この整備に伴い、本市が取得予定のJR四国車両基地跡地は、平成27年5月に「松山駅周辺地区車両基地跡地利用に関する基本構想(以下「基本構想」という)を策定し、「まつやま情報文化交流拠点」を基本理念とした新施設の整備を目指している。
- 3 本業務では、新施設を整備するにあたり、必要な機能や規模等に関する基本計画を策定するとともに、「松山文化交流拠点建設で仕様書まで決まっていたにもかかわらず、市長がドタキャンしてアリーナに変更!!」
- 4 業務の履行期間
契約締結日から令和7年3月31日まで
- 5 業務の内容
(1) 基本計画の策定
基本計画策定のため、次の業務を行うものとする。
① 導入機能・規模の検討
基本構想及び周辺施設の整備状況等を踏まえ、新施設へ導入する機能、規模を検討する。(公共機能として、劇場型ホール(2000席程度)、多目的ホール(800席程度)と子ども関連施設を確保することを想定している。)

車両基地跡地広域交流拠点施設
基本計画策定業務委託仕様書
2024年4月1日

愛媛経済同友会へアリーナ整備提言撤回の申し入れをしました。

愛媛経済同友会から松山市へのアリーナ整備提言撤回のお願い

2025年9月10日

愛媛経済同友会代表幹事 山口 普様
スポーツ振興委員長 近藤 譲治様

松山市議会議員 梶原 時義

愛媛県及び松山市の経済活動活性化にご貢献をされておられます貴団体に敬意と感謝を申し上げます。

貴団体が2024年4月30日に松山市に提出されました「スポーツ振興による地域経済の活性化、アリーナ(多目的屋内施設)整備の提言」の撤回をお願いしたく文書で申し入れるものです。

松山市のJR車両基地跡地の利用計画は、2012年に利用計画策定のための審議会を有識者にお呼びし、2年間の審議のうえ、松山文化情報交流拠点を作るという基本理念のもと、2015年に「音楽・美術・文学・演劇・舞踊など文化・芸術・活動が盛んな松山市のさらなる活性化につながるよう、多くの人が文化情報文化を体験できる拠点をめざす」と発表しました。

ここには、既に耐用年数が来ている松山市民会館の文化活動機能を引き継ぐという内容も加えての検討結果でありました。

申し上げたいのは、初めから車両基地跡地利用施設の計画にはスポーツ施設やアリーナと

いった複合施設の要望は、市民からはもとより、一度も出ておらず、この10年間アリーナの「ア」の字もなく、議題にもなったことがない中で、貴団体が突然のアリーナ提言は、市民や文化団体から期待された文化ホール等の建設にブレーキをかけるものであり、且つこれまでの松山市政の流れを無視したものであり、貴団体の行動が、松山市政に混乱をもたらしていると看做ざるを得ません。

もちろん市長の政策転換ですから最終的には野市長の責任ではありますが、貴団体の提言が文化ホール施設等の建設からアリーナ建設に転換させる大きな影響を与えたことは否めず、今回のアリーナ提言を撤回されんことを切に望みます。

ちなみに、今後本市の他の場所にアリーナ整備を提言されるようでしたら全力で応援をさせていただきますと考えていますので、今後ともご指導を頂けたらありがたいです。(以上全文)

アリーナ整備提言撤回を

松山市議 梶原氏 経済同友会に文書

2025.9.18
愛媛新聞

松山市がJR松山駅西側の車両基地跡地で整備計画を進める多目的アリーナに関し、市議の梶原時義氏(新風会)が17日までに、2024年4月にバスケットボールBリーグの試合やコンサートなどで利用できるアリーナ整備を市に提言した愛媛経済同友会に対し、提言を撤回するよう求める文書を交付した。

文書によると、同跡地では市民会館の文化活動機能の継承を含めた施設整備を検討していたと指摘。「最終的には市長の責任だが、提言が文化ホールからアリーナへの転換に大きな影響を与えたことは否めない」と指摘した。

同友会は「これまでもさまざまな提言をしてきた。いろんな意見がある中で、文書の内容を見て対応を検討したい」とした。

梶原氏は17日の市議会の一般質問で、文化ホールからアリーナへ転換した経緯などを質問。坪内洋交通拠点整備担当部長は、若年層の都市圏流出や、全国各地に広がるアリーナ建設による都市間競争など社会情勢の変化を踏まえたとして「より集客力の高い5千席以上のアリーナを整備し、市民会館の代替機能については別途検討する基本計画を策定した」と答弁した。

議会公質問

梶原ときよし

9月議会
一般質問より抜粋

2025年
9月17日

参議院選挙で差別や排外主義をあおる言葉が氾濫したことについて

梶原議員の質問

参議院選挙において、SNSだけでなく立候補者のフェイスブックを含め、差別や排外主義をあおる発言が氾濫したことで、学校現場において異なる差別や分断、いじめが顕在化していないか心配している。2学期を迎え、外国にルーツを持つ児童・生徒が孤立することなく、安心して学べる環境を確保するためには、教育委員会の積極的な関与が必要と考えるが、教育長の見解を問う。

教育委員会事務局長の答弁

本市の小中学校では、全ての教育活動を通して、自己を尊重することや多様性を認め合うことなど、子どもたちの人権意識を高めながら、一人一人を大切に教育を進めています。今後も、外国にルーツを持つ子どもたちを含め、全ての子どもたちが安心して学び、将来にわたって人権を守る行動が取れるよう、人権教育の充実といじめの未然防止に、一層取り組んでいきます。



真面目な答弁をありがとうございます。大人社会が排外主義的差別発言を野放しにする事を許してはなりません。もちろん、子ども達が安心して通える学校にしなければなりません。差別と闘う学校教育を宜しくお願いします。

生活保護受給者の保護費減額は違法との最高裁判決を受けて、市長は、受給者への謝罪及び被害回復のための謝罪と支給を急ぐべきではないか。

梶原議員の質問

最高裁判所は6月27日、厚生労働省の生活保護基準引下げは違法との判決を出した。また本市においても松山地方裁判所が本市の保護費減額処分は違法との判決を出していた。本市は最高裁判決を真意に受け止め、国の判断を待つまでもなく、取りあえず、高松高裁の控訴を取り下げるのが、被害者に対する最低限の謝罪と思うがどうか。

JR 松山駅横

市民に必要なのは市民会館文化ホール等であり

横やりのアリーナではない!!

JR 車両基地跡

2015年に発表したJR松山駅の車両基地跡地に関する基本構想にはアリーナの「ア」の字もなく、文化芸術活動の拠点を指すところがあるが、市民の多くが望まないこの場所でのアリーナ建設は撤回すべきではないか。

梶原議員の質問

JR松山駅の車両基地跡地の利用計画は2012年から審議会により、2年間もの審議の後、2015年に「音楽、美術、文学、演劇、舞踊など情報文化の拠点をめざす」と発表したが、施工直前の2025年になって、どうして突然アリーナに変更したのか。

交通拠点整備担当部長の答弁

Bリーグ誕生で全国各地に広がるアリーナ建設、それによる都市間競争といった社会情勢の変化を背景に、県都松山の陸の玄関口であるJR松山駅周辺にふさわしい交流拠点施設に向け、車両基地跡地では、基本構想で示した5つの主要機能を満たす、より集客力の高い5000席以上のアリーナを整備し、市民会館の代替機能については、別途検討するとして基本計画を策定したものです。

梶原議員の質問

野志市長の突然のアリーナへの方針転換は市民の声ではなく経済界の期待に促されたものだと指摘があるが、2012年からの市民要望のプロセスを明らかにし、本市はどのような検討をしてきたのか詳細を示せ。

交通拠点整備担当部長の答弁

2012年に、審議会を設置し、文化、交流にぎわい創出拠点、公共空間など、車両基地跡地に期待される機能や方向性について、約1年半にわたる検討を経て、2015年に基本構想を策定しました。

その後、昨年度から経済団体の提言や、意見などを参考に、車両基地跡地にはアリーナを整備し、市民会館の代替機能については、別途検討するとして基本計画を策定したものです。

2015年基本構想策定後、2024年に経済界がアリーナ提言をした間の空白の9年間を聞いている。何もしていないから全く答えられない。

福祉推進部長の答弁

現在、国で、学識経験者による専門委員会を設置し、最高裁判決を踏まえた今後の方針について検討されています。こうした状況から、現時点で本市が独自で控訴を取り下げることは適当でないと考えています。

最高裁判所の判決が出た以上、本市は憲法第25条の「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を有する市民に対する義務違反である。即刻、被害回復を図らなければなりません。

本庁内における手数料支払いにキャッシュレス併用を望むが、いまだにレジを入れず、領収明細も出さない部署がある。なぜ市民の利便性に配慮しないのか。

梶原議員の質問

本庁一階市民部の窓口では、市民の住居費などの取得に際し、レジを置き、現金でもカードなどのキャッシュレスでも対応して市民の利便性を図っているが、都市整備部や開発建設部ではい

梶原議員の質問

2017年完成予定だった新JR松山駅は昨年7年も遅れて開業したが、野志市長の場当たり的な政策変更でJR松山駅周辺の再開発はまた大幅に遅れるのは事実で、度重なる中村知事の指摘にもあるように、全体像が示せないリーダースhipのなさが顕著に表れている。愛媛経済同友会の情勢に外れたアリーナ提言に屈するのではなく、市民主権を守るべくアリーナへの変更は撤回すべきと思うがどうか。

交通拠点整備担当部長の答弁

2024年9月の鉄道高架切り替えにあわせ、エリア全体のにぎわい創出や交通機能強化などを旨とする駅周辺の全体ビジョンとして、市長が「将来像」を発表しました。今後も、駅周辺のアリーナ整備の実現に向けて、取り組めます。

この答弁にも、空白の9年間(2015年〜2024年)の実態が書かれています。松山市民にとって絶対に必要なものは市民会館に代わる文化施設なのか? それともアリーナなのか? 厳しい財政にも関わらず、アリーナ(あつたらしい施設)は、税金の無駄遣いになるのではないか? 心配でなりません。

アリーナは松前町へ!!



宿泊等、松山市へ
十分な経済効果!!



梶原ときよし(新風会)
2010年の初当選以来4期16年目、全定例市議会62議会連続登壇を続けています。(松山市議会:連続登壇記録更新中)

庁内雑音のヒトコマ



人はいんな個性があれど、平等でないといけませんよネ。嘘とフェイクを街頭演説でタレ流すだけでなくSNSで拡散する手法で差別を煽る議員は許しません!



人間として生まれながらに持つ人権や他人の人権を尊重する精神を議員ならばもっと学ばなきゃダメです!!



生活や政治への不満を権力に向けさせず、嘘とフェイクで外国人や、生活弱者の責任に向かせようとする政治権力者の分裂支配構造の本質に、私は気が付かなければなりません。敵は外国人ではなく権力者とその子分達です。

梶原議員